

送辞

真っ白な大地に、暖かさを帯びた日射しが降り注ぐ季節となりました。全てを覆い尽くしていた雪が溶けはじめ、我々を新たな春へと誘（いざな）います。

今日この佳き日に、三年間の学業を終え、希望に満ち溢れる明日へと旅立たれる卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。我々在校生一同、心よりお慶び申し上げます。

四季折々の美しい自然に包まれながら、西仙北高校で過ごしたいつも通りの日々は、今日で終わりを迎えます。皆さんは西仙北高校創立五十周年の年に入学され、本校の半世紀の歴史と共に歩み始めてから、早三年が経ちました。

白く輝く校舎へと続く長い坂道を、桜の絨毯を踏みしめながら登った日。

静寂の中で一日が始まる、朝学習、朝読書。授業で知性を養い、休み時間には友人達と語り合い、そして、みんなで目標を一つにして練習した放課後の部活動。一日一日と積み重ねてきた、貴重な時間。これらの思い出は、先輩方の胸の中だけではなく、校舎のあちらこちらに刻み込まれています。

私たち在校生は、パワフルで個性豊かな先輩方から、常に刺激を頂いていました。

西高祭では、手際よくリーダーシップをとる生徒会の皆さんの頑張りや、一際輝く完成度の高いステージパフォーマンスや模擬店の盛況ぶりを見せてくれました。

高い技術で熱戦が繰り広げられた学級対抗、美しい緑に囲まれた中で団結力を見せた運動会、いつも先輩方の姿には圧倒されていました。

部活動で悩んだ時は、叱咤激励の言葉で背中を押してくれました。また、試合で活躍する姿に憧れ、やる気を喚起されたことも一度や二度ではありませんでした。精一杯応援していただいたこともありました。常に挑戦し続けることと諦めないことを先輩方から学び、勇気をもらいました。これから私たちは、先輩方が築かれたことを受け継ぎ、悔いのない学校生活を送ることを誓います。

それぞれの進む道は違っても自分の信じる道を歩んでください。夢や希望に向かって進む途中には、想像以上の厳しい壁があるかもしれません。挫けそうになった時にはここでの三年間を思い出してください。そして、どこまでも続く青く澄んだ大空を見上げてください。みんな同じ空の下で繋がっています。どこかで仲間と繋がって

る、どこかに自分を応援してくれている仲間がいると思うと、力が湧いてくるはずで
す。

何度も歌った校歌にあるように、たゆまぬ努力を忘れず、西仙北高校で基を築いた
仲間や、時には優しく、時には厳しく接して下さった先生方との繋がりを信じ、希
望輝く道を自ら切り開いてください。私たちも先輩方を、応援しております。

卒業生の皆様のご活躍を心からお祈りし、幸多かれとの願いを込めて、送辞といた
します。

平成三十年三月一日

在校生代表 大山 慎吾